

# 慢性腎不全児の心理学的問題点について (II)

## 小児腎疾患の長期管理における運動・食事・社会心理に関する研究 長期管理に由来する社会心理の問題について

井原成男 鈴木育夫 白井信男

3例の慢性腎不全患児の心理テスト、カウンセリングを通して、これらの患児の抱える心理的問題点について検討した。治療法、環境の変化は患児にたいして種々の心理的影響を及ぼす。とくに、経時的に行なったカウンセリングは、患児および家族の抱える心理的問題点をより明確にし、適切に対処するうえで不可欠と思われた。長期の医療管理を有する慢性腎疾患児にたいしては心理の専門家による早期の対策が重要になってくるものと思われる。

慢性腎不全、心理テスト、カウンセリング、QOL

### 【はじめに】

我々は前年度、慢性腎不全児8名について心理テスト(YG、PFスタディ、SCT、HTP)を行ない、患児らの性格傾向について報告した。これらの患児のうち、何名かはその後、治療法、生活環境などの変化にともない、新たな心身症状が現れてきている。治療方法の変化が心理的に見てプラスに作用したものもあれば、マイナスに作用したものも認められた。

今回は、治療法や環境の変化が患児らに与える心理的影響をより詳細に検討する目的で経時的に心理検査を行なうとともに、カウンセリングを繰り返して行ない、検討した。

### 【研究方法】

対象は前年度、心理テストを行なった8症例のうち、治療法、生活環境が著しく変化した3症例である。これらの3症例にたいして前年度と同様の心理テスト(YG、PFスタディ、SCT、HPT)を行なうとともに、カウンセリングから得られた患児から内面的な事実について検討した。

### 【症 例】

(症例1)

17才男児。6才時、ネフローゼ症候群に罹患、16才時、末期慢性腎不全のためCAPD療法に

移行した。1年2ヶ月後、母親より生体腎移植を受け、経過良好である。

今回、腎移植が成功した事により、人工的なものから解放されたといえることができる。YGテストでは、もともと、性格的にはおとなしく、情緒的にも安定しているというC型の性格を示していたが、今回のテストでは外交的で、情緒的にも安定しているというD型のプロフィールに変化していた。しかし、この子の内面的な変化はSCTの記述の中により明瞭に表わされている。移植前に比較して、病気という感覚が薄れ、健康への自信が増し、死への恐れが減少している。健康な生活への希望が語られ、「こんなことならもっと早く移植すれば良かった。」という感想が語られている。

このケースにおいて、腎移植がもっと深いところで患児に与えた影響は、母親が腎臓を提供してくれた事への感謝が見られることである(逆に言うと、このケースにおける母子間の強い結び付きから見ると、移植がうまく行かなかった場合、強い罪悪感を引き起こす恐れがあった)。こうした母親への感謝はHTPにも表われている。生きるエネルギーとも言える木が増え、その木の成長を育むかのように、母親らしき女性が水をかけている。移植以後、現実的にも母親

東京慈恵会医科大学 小児科

Naruo Ihara, Ikuo Suzuki, Nobuo Usui

The Tokyo Jikei University School of Medicine

を頼りにすることが少なくなったという。

(症例2)

12才男児。発育不全腎。乳児期より上記疾患のため、フォローされている。12才時、保存的療法からCAPD療法に移行した。

CAPD療法開始後、食事制限から解放されたものの、時間的制約が増え、それが新たなストレスになっている。YGテストでは、この子は情緒的に不安定で、比較的、行動的であるというB型の傾向を持っている。従って、治療法による制限や新たなストレスに反応しやすい。HTPに見られる様に、前回の絵には大好きだが食事制限のため食べられない「栗」が非現実的に過大視されて描かれているのにたいして、CAPD導入後、その制限が解除された時点での絵では「栗」が現実的な大きさになり、全体に柔らかい印象である。しかし、次第にCAPDの持つ制限がストレスになり始めた時点でのHPTは、密集した家の合間をいまにもぶつからんばかりに電車が疾走している。SCTで見ても、CAPD導入前は、自由に食べられないかわりの代償行動として、料理を皆に作ってあげたり、また、料理を誉められるので、将来、調理師になるのを目標にしていたのが、CAPDになり食事制限が無くなった頃からこの目標が消え、代わりに増大するストレスに対する不満が述べられるようになっていく(嫌いなのは排泄、怖いのは管が抜ける夢などの記載)。患児は幼少時よりおとなしく、いわゆる反抗期の無かった子であるが、思春期を迎えたことと、こうした制限を親からうるさく言われることへの反発が重なり、思春期の反抗がより複雑になることが予想される。こうした事態への継続的な家族カウンセリングが必要と考える。

(症例3)

11才男児。新生児期より発育不全腎に気付かれ、以後継続して医療管理を受けている。食事制限、投薬および低身長に対して成長ホルモン投与を受けている。治療法自体は変化していないが、病気があるという理由で、母親が子供

扱いしてきたため、年齢相応の社会性が身に付いていない。SCTの記述に見られるように(嫌なのはいじめられること、私はよくいじめられます。以前は友達と遊んでいたが、今は家で遊びますなど)、患児自身、現在の自分のやりかたではうまく周囲の人々と付き合っていけなくなっていることを自覚し始めている。PFスタディのGCR得点がやや上昇している事からも分かるように本人自身は不全感を持ち、努力している。その緊張がチックという症状として表われた(HTPの火山の爆発はこうした緊張を表わしているとも取れる)。しかし、プレイルームで、まるで3、4才の子供のようなレベルに退行して遊んでいる間、チックは全く現われない。このように、患児本来のレベルで回りの子と遊ばず、いじめられてしまうということ、現実の姿と期待される事の間には差がありすぎるといえることがチックの原因であると考えられる。患児自身のレベルを受け入れる場を保証しつつ、それを少しでもレベルアップしていくことがこれらの心理的援助の課題である。

【まとめ】

ここにあげた3症例からも分かるように、慢性腎不全児の心理的問題点は単に医療管理が長期間に及ぶことだけではなく、腎不全に伴う種々の症状、合併症、や治療の内容などに加えて患児自身の基本的な性格なども複雑に絡み合っている。

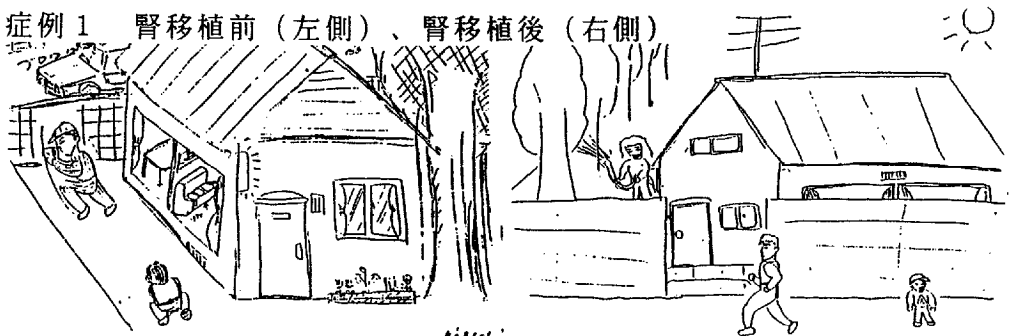
今後、心理テストとカウンセリングから得られた様々な事実を重ねあわせることによって、慢性腎不全児が遭遇する多様な心理的問題を早期に発見し、適切な対策を立てることで、患児のQOLの向上に援助することが可能になるものと考えられる。

表1 3症例の心理テストの結果

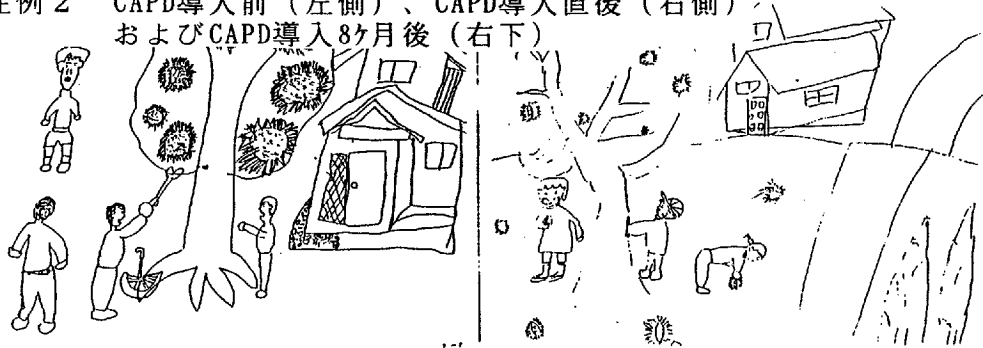
| 症例  | YG  | PF   | SCT  | HPT   |
|---|---|--|--|---|
| <p>1 ○田○樹<br/>(18才・男児)</p> <p>病歴<br/>6才ネフローゼ<br/>15才CAPD<br/>17才腎移植</p> <p>心理テスト<br/>①16才腎移植前<br/>②17才腎移植後</p>                              | <p>①<br/>C型</p> <p>②<br/>D型</p>                 | <p>①<br/>やや外罰的<br/>・防衛的<br/>GCR平均</p> <p>②<br/>外罰傾向低<br/>下・防衛的<br/>GCR平均</p>                                   | <p>子供の頃：②私は病気だった。といっても<br/>今も病気なんだが、そういう感覚がだい<br/>ぶなくなってきた。<br/>私の失敗：①再発 ②遊びすぎたこと<br/>私の父：②理想的、健康に気をつけて<br/>死：①木練は残さないように ②ピンとこ<br/>ない<br/>人々：②健康な人の生活とは？<br/>私のできないこと：②できるようになれば<br/>もし、私の母が：②健康でなかったら腎移<br/>植はできなかったろう<br/>金：①欲しい ②そんなに欲しくない<br/>私の健康は：②腎臓病以外はカゼなどあま<br/>りひかなくなつた<br/>残念なのは：②どうせ移植するなら小さい<br/>時ときしとけば良かった<br/>羨ましいのは：②スポーツ選手、僕もなり<br/>たかった<br/>②きもちあせる<br/>②入院していた頃をだいぶ忘れた</p>                     | <p>【変化】<br/>①電灯の光り→②太陽<br/>①囲いのなか→②外<br/>木：②本数増加、水を<br/>かけている人<br/>人：①2人→②3人<br/>①同性→②異性</p> <p>【特徴】<br/>遠近感あり<br/>アンテナ<br/>囲い<br/>運動</p>   |
| <p>2 ○田 博<br/>(13才・男児)</p> <p>病歴<br/>0才発育不全腎<br/>12才CAPD導入</p> <p>心理テスト<br/>①12才<br/>保存療法期<br/>②13才<br/>CAPD導入直後<br/>③11才<br/>CAPD 8ヶ月後</p> | <p>①<br/>B型</p> <p>②<br/>A型</p> <p>③<br/>B型</p> | <p>①<br/>やや無罰的<br/>GCR平均</p> <p>②<br/>やや外罰的<br/>・防衛的<br/>GCR低下</p> <p>③<br/>無罰的<br/>・防衛的<br/>GCR<br/>さらに低下</p> | <p>御飯のとき：①とてもうれしい、張り切る<br/>手伝う<br/>学校から帰ってきて：①ひるね③はいえき<br/>運動：①好き ②大きくなりた<br/>いが嫌いなのは：③はいえき<br/>私の家庭は：③まずしいからびんぼうしょ<br/>うがある<br/>けんか：①嫌い、夫婦けんかばかり<br/>ひそかに：①病気をなおしたい ②金をた<br/>めている大人：③ずうずうしい<br/>大きくなつたら：①普通の会社で働く人に<br/>なれば良い②調理師になりたい<br/>家の人：①おこる②明るい③ばかばかり<br/>私がかわいのは：②かあちゃん ③くだが<br/>ぬけるゆめ<br/>私の不平は：②時間に(が)きびしい<br/>私を苦しめるのは：①病気<br/>私が自慢したいのは：①食事を作れること<br/>／料理がうまいこと ③なし<br/>家で良く言われることは：①水をいっぱい<br/>飲め</p> | <p>【変化】<br/>家：②遠近感が出て統<br/>合的に(家も2面)<br/>立体化→③家が3面<br/>に(かなり密集し、<br/>立体化)<br/>栗：①過大→②適大<br/>で食べられそう(実<br/>が無くなっている)<br/>人：②異性の登場(カ<br/>レンダーより借用)<br/>、人物の表情を強調</p> <p>【特徴】<br/>戸外での遊び<br/>一階家(防衛)<br/>鳥瞰図的<br/>花、栗のイガが細かく<br/>書いてある。密集し<br/>て緊張を感じさせる</p> |
| <p>3 ○村○二<br/>(12才・男児)</p> <p>病歴<br/>0才発育不全腎<br/>現在保存療法中</p> <p>心理テスト<br/>①11才<br/>保存療法期<br/>②12才<br/>保存療法期</p>                             | <p>①<br/>A型</p> <p>②<br/>C型</p>                 | <p>①<br/>外罰的<br/>・防衛的<br/>GCR<br/>やや低い</p> <p>②<br/>やや無罰的<br/>・防衛的<br/>GCR平均</p>                               | <p>小さいとき私は：①泣きました ②赤ちゃ<br/>んでした<br/>一番欲しいものは：①電車のも型／電車の<br/>本<br/>いやなのは：②いじめられること<br/>母：②もう少し美しかったら<br/>父：②かっこよかつたら<br/>うれしいのは：①電車の本を買ってもらつ<br/>たとき<br/>父は私の言うことを：①よく聞いてくれる<br/>私はよく：②いじめられます<br/>私が得意なことは：①時刻表を見ること<br/>②ありません<br/>学校から帰ってきて私は：①友達と遊ぶ<br/>②家で遊ぶ<br/>母は私に：①だきついてきます、あまえて<br/>きます<br/>父は私に：①だきつきます<br/>みなは私のことを：①好きです ②きらつ<br/>てます<br/>勉強は：①(きらい)</p>   | <p>【変化】<br/>②やや遠近感(電車の<br/>向き)が出ている。<br/>人：人数①1人→②3<br/>人へ急に増加<br/>②太陽が無くなつてい<br/>る<br/>②火山+乱れた線の増<br/>加。<br/>②ドアの消滅</p> <p>【特徴】<br/>未統合<br/>線が多い<br/>人、家、木のバランス<br/>なし<br/>電車が多い<br/>人物一エネルギーを<br/>出している</p>   |

※ (①、②、③はそれぞれの心理テストの回数を表わす。)

症例1 腎移植前（左側）、腎移植後（右側）



症例2 CAPD導入前（左側）、CAPD導入直後（右側）  
およびCAPD導入8ヶ月後（右下）



症例3 保存療法期（左側）、保存療法期（右側）

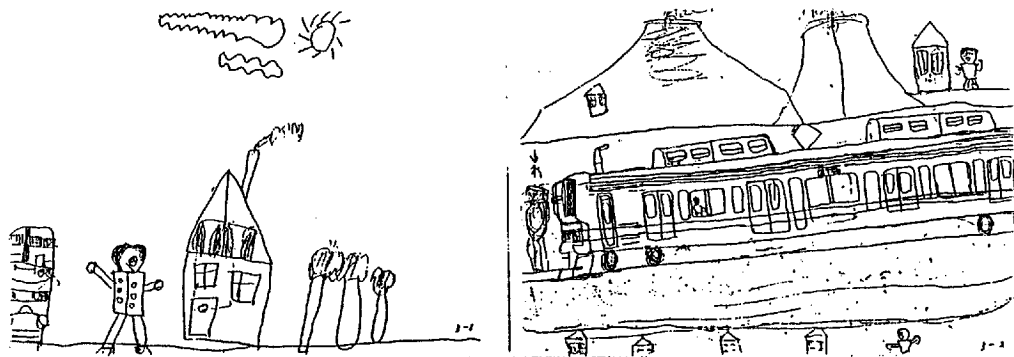


図1 3症例のHTPテスト



## 検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



3 例の慢性腎不全患児の心理テスト、カウンセリングを通して、これらの患児の抱える心理的問題点について検討した。治療法、環境の変化は患児にたいして種々の心理的影響を及ぼす。とくに、経時的に行なったカウンセリングは、患児および家族の抱える心理的問題点をより明確にし、適切に対処するうえで不可欠と思われた。長期の医療管理を有する慢性腎疾患児にたいしては心理の専門家による早期の対策が重要になってくるものと思われる。